

学期 / Semester	2025年度 / Academic Year 1クォーター / First Quarter	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 5, 火 / Tue 5
開講期間 / Course duration	2025/04/01 ~ 2025/06/08		
必修選択 / Required / Elective	必修, 選択, 自由 / required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/32.0, 1.0/1.0,
時間割コード / Time schedule code	202505810030C2	科目番号 / Course code	05810030
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEFY 15021_001		
授業科目名 / Course title	●初年次セミナー（水産） / First-Year Seminar		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	王 曜 / Wang Yao		
授業担当教員名（科目責任者） / Instructor in charge of the course	王 曜 / Wang Yao		
授業担当教員名（オムニバス科目等） / Instructor(s)	王 曜 / Wang Yao		
科目分類 / Course Category	教養ゼミナール科目, 編入学生教養教育科目認定単位, 教養ゼミナール科目, 教職に関する科目（第2欄）, 大学院科目[構造], 自由選択科目 / Elective Courses		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	学部問い合わせのこと		
対象学生（クラス等） / Intended year (class)	水産学部1年生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	担当教員に確認すること		
担当教員研究室/Office	担当教員に確認すること		
担当教員TEL/Tel	担当教員に確認すること		
担当教員オフィスアワー/Office hours	講義後		
授業の概要及び位置づけ / Course overview	知的活動の動機付けを高め、科学的な思考方法と学習・実験のデザイン能力、レポートや口頭でのプレゼンテーション、ディスカッションを通じて適切な自己表現能力を育てる。 以上の授業概要及び位置づけに基づき、授業内容では以下を取り上げる。 自立的な学びの仕組み（アクティブラーニングとは何か、学修ポートフォリオの位置づけ、総合評価、各学部・コースのディプロマポリシーの周知、カリキュラムマップ・ツリーの説明） 文章の書き方（アカデミック・ライティング、クリティカル・ライティング） 文章の読み方（クリティカル・リーディング） 情報リテラシーとモラル（引用の仕方、不正行為（剽窃・盗用）、情報リテラシー、教員への質問の仕方（研究室の訪問の仕方、オフィスアワーとは何か、メールの書き方を含む）） 著作権 生成AIの概念と応用 社会におけるデータ・AI等の活用事例 図書館資料収集ガイダンス 課題発見、リサーチクエスト、問題関心（テーマ）の選択など プレゼンテーションの方法 ディスカッションの方法		
授業到達目標 / Course goals	高校までの教師主導型学習から、大学における自主的学習へのオリエンテーション機能を果たすこと、また、本学部での学習の入り口として、学生と教員及び学生相互のコミュニケーションづくりの効果も期待する。（目標A, F, G, I, J）		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力（1つ以上3つまで） / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ☐ 多様性の理解 / Understanding Diversity ■主体性 / Autonomy ☐ 協働性 / Cooperativeness ☐ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ☐ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	☐ A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ☒ B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ☐ C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ☐ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	授業開始時に詳細は説明するが、初年次セミナーに対する取り組み方やディスカッションへの積極的参加、プレゼンテーション、レポート等により評価する。		
各回の授業内容・授業方法（学習指導方法） / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		

事前、事後学修の内容/Preparation & Review	事前学習：課題学習のための調査や資料収集を行い、レポートの作成やプレゼンテーションの準備・練習を行うこと。(2h) 事後学習：授業時に配布された資料等を用いて復習を行い、情報リテラシーや情報セキュリティ、図書館資料収集方法についての理解を深め、主体的な学習のスキルを身に着けること。(2h)
キーワード/Keywords	プレゼンテーション、自己表現力、コミュニケーション、情報・資料収集
教科書・教材・参考書/Materials	授業の進行に合わせ、必要があればその都度指示する。
受講要件（履修条件）/Prerequisites	
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	
学生へのメッセージ/Message for students	「長大生のためのラーニングティップス」 https://www.innov.nagasaki-u.ac.jp/content-result/student/
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回（4月7日）	ガイダンス：モジュール科目による教養教育、アクティブラーニング、教員紹介（対面）
第2回（4月8日）	担当教員との懇談・方針説明・レポート作成の基礎、ポートフォリオの入力（対面）
第3回（4月14日）	クラス別課題学習（自主的な調べ学習のテーマ設定）
第4回（4月15日）	アクティブラーニングで学ぶコソ（教務委員長）（対面）
第5回（4月21日）	情報セキュリティ特別授業（対面）
第6回（4月22日）	クラス別課題学習（資料収集及び調査、中間発表、追加調査、調査を纏めるための検討、プレゼンテーションの方法についての検討、発表の準備）（対面）
第7回（4月28日）	情報リテラシー（著作権、（生成）A I 等）（対面）
第8回（5月12日）	図書館資料収集ガイダンス（対面）
第9回（5月13日）	各自課題を設定し、調べ及び発表準備（対面）
第10回（5月19日）	クラス別課題学習（資料収集及び調査、中間発表、追加調査、調査を纏めるための検討、プレゼンテーションの方法についての検討、発表の準備）
第11回（5月20日）	クラス別課題学習（資料収集及び調査、中間発表、追加調査、調査を纏めるための検討、プレゼンテーションの方法についての検討、発表の準備）
第12回（5月26日）	クラス別課題学習（資料収集及び調査、中間発表、追加調査、調査を纏めるための検討、プレゼンテーションの方法についての検討、発表の準備）
第13回（5月27日）	クラス別課題学習（資料収集及び調査、中間発表、追加調査、調査を纏めるための検討、プレゼンテーションの方法についての検討、発表の準備）
第14回（6月2日）	クラス別課題学習（資料収集及び調査、中間発表、追加調査、調査を纏めるための検討、プレゼンテーションの方法についての検討、発表の準備）
第15回（6月3日）	クラス別課題学習（最終発表会 反省と総括等を含む）（対面）

学期 / Semester	2025年度 / Academic Year 1クォーター / First Quarter	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 5, 火 / Tue 5
開講期間 / Course duration	2025/04/01 ~ 2025/06/08		
必修選択 / Required / Elective	必修, 選択, 自由 / required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/32.0, 1.0/1.0,
時間割コード / Time schedule code	202505810030C3	科目番号 / Course code	05810030
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEFY 15021_001		
授業科目名 / Course title	●初年次セミナー（水産） / First-Year Seminar		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	山口 健一 / Yamaguchi Kenichi		
授業担当教員名（科目責任者） / Instructor in charge of the course	山口 健一 / Yamaguchi Kenichi		
授業担当教員名（オムニバス科目等） / Instructor(s)	山口 健一 / Yamaguchi Kenichi		
科目分類 / Course Category	教養ゼミナール科目, 編入学生教養教育科目認定単位, 教養ゼミナール科目, 教職に関する科目（第2欄）, 大学院科目[構造], 自由選択科目 / Elective Courses		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	学部問い合わせのこと		
対象学生（クラス等） / Intended year (class)	水産学部1年生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	担当教員に確認すること		
担当教員研究室/Office	担当教員に確認すること		
担当教員TEL/Tel	担当教員に確認すること		
担当教員オフィスアワー/Office hours	講義後		
授業の概要及び位置づけ / Course overview	知的活動の動機付けを高め、科学的な思考方法と学習・実験のデザイン能力、レポートや口頭でのプレゼンテーション、ディスカッションを通じて適切な自己表現能力を育てる。 以上の授業概要及び位置づけに基づき、授業内容では以下を取り上げる。 自立的な学びの仕組み（アクティブラーニングとは何か、学修ポートフォリオの位置づけ、総合評価、各学部・コースのディプロマポリシーの周知、カリキュラムマップ・ツリーの説明） 文章の書き方（アカデミック・ライティング、クリティカル・ライティング） 文章の読み方（クリティカル・リーディング） 情報リテラシーとモラル（引用の仕方、不正行為（剽窃・盗用）、情報リテラシー、教員への質問の仕方（研究室の訪問の仕方、オフィスアワーとは何か、メールの書き方を含む）） 著作権 生成AIの概念と応用 社会におけるデータ・AI等の活用事例 図書館資料収集ガイダンス 課題発見、リサーチクエスト、問題関心（テーマ）の選択など プレゼンテーションの方法 ディスカッションの方法		
授業到達目標 / Course goals	高校までの教師主導型学習から、大学における自主的学習へのオリエンテーション機能を果たすこと、また、本学部での学習の入り口として、学生と教員及び学生相互のコミュニケーションづくりの効果も期待する。（目標A, F, G, I, J）		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力（1つ以上3つまで） / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ☐ 多様性の理解 / Understanding Diversity ☒ 主体性 / Autonomy ☐ 協働性 / Cooperativeness ☐ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ☐ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	☐ A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ☒ B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ☐ C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ☐ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	授業開始時に詳細は説明するが、初年次セミナーに対する取り組み方やディスカッションへの積極的参加、プレゼンテーション、レポート等により評価する。		
各回の授業内容・授業方法（学習指導方法） / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		

事前、事後学修の内容/Preparation & Review	事前学習：課題学習のための調査や資料収集を行い、レポートの作成やプレゼンテーションの準備・練習を行うこと。(2h) 事後学習：授業時に配布された資料等を用いて復習を行い、情報リテラシーや情報セキュリティ、図書館資料収集方法についての理解を深め、主体的な学習のスキルを身に着けること。(2h)
キーワード/Keywords	プレゼンテーション、自己表現力、コミュニケーション、情報・資料収集
教科書・教材・参考書/Materials	授業の進行に合わせ、必要があればその都度指示する。
受講要件（履修条件）/Prerequisites	
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	
学生へのメッセージ/Message for students	「長大生のためのラーニングティップス」 https://www.innov.nagasaki-u.ac.jp/content-result/student/
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回（4月7日）	ガイダンス：モジュール科目による教養教育、アクティブラーニング、教員紹介（対面）
第2回（4月8日）	担当教員との懇談・方針説明・レポート作成の基礎、ポートフォリオの入力（対面）
第3回（4月14日）	レポート作成・提出（対面）
第4回（4月15日）	アクティブラーニングで学ぶコツ（教務委員長）（対面）
第5回（4月21日）	情報セキュリティ特別授業（対面）
第6回（4月22日）	クラス別課題学習（資料収集及び調査、中間発表、追加調査、調査を纏めるための検討、プレゼンテーションの方法についての検討、発表の準備）（対面）
第7回（4月28日）	情報リテラシー（著作権、（生成）AI等）（対面）
第8回（5月12日）	1～5班図書館資料収集ガイダンス（6～10班は第9回目に実施する）6～10班は各自課題を設定し、調べ及び発表準備（対面）
第9回（5月13日）	6～10班図書館資料収集ガイダンス（1～5班は第8回目に実施する）1～5班は各自課題を設定し、調べ及び発表準備（対面）
第10回（5月19日）	クラス別課題学習（資料収集及び調査、中間発表、追加調査、調査を纏めるための検討、プレゼンテーションの方法についての検討、発表の準備）（対面）
第11回（5月20日）	クラス別課題学習（資料収集及び調査、中間発表、追加調査、調査を纏めるための検討、プレゼンテーションの方法についての検討、発表の準備）（対面）
第12回（5月26日）	クラス別課題学習（資料収集及び調査、中間発表、追加調査、調査を纏めるための検討、プレゼンテーションの方法についての検討、発表の準備）（対面）
第13回（5月27日）	クラス別課題学習（資料収集及び調査、中間発表、追加調査、調査を纏めるための検討、プレゼンテーションの方法についての検討、発表の準備）（対面）
第14回（6月2日）	クラス別課題学習（資料収集及び調査、中間発表、追加調査、調査を纏めるための検討、プレゼンテーションの方法についての検討、発表の準備）（対面）
第15回（6月3日）	クラス別課題学習（最終発表会 反省と総括等を含む）（対面）

学期 / Semester	2025年度 / Academic Year 1クォーター / First Quarter	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 5, 火 / Tue 5
開講期間 / Course duration	2025/04/01 ~ 2025/06/08		
必修選択 / Required / Elective	必修, 選択, 自由 / required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/32.0, 1.0/1.0,
時間割コード / Time schedule code	202505810030C4	科目番号 / Course code	05810030
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEFY 15021_001		
授業科目名 / Course title	●初年次セミナー（水産） / First-Year Seminar		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	高谷 智裕 / Takatani Tomohiro		
授業担当教員名（科目責任者） / Instructor in charge of the course	高谷 智裕 / Takatani Tomohiro		
授業担当教員名（オムニバス科目等） / Instructor(s)	高谷 智裕 / Takatani Tomohiro		
科目分類 / Course Category	教養ゼミナール科目, 編入学生教養教育科目認定単位, 教養ゼミナール科目, 教職に関する科目（第2欄）, 大学院科目[構造], 自由選択科目 / Elective Courses		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	学部問い合わせのこと		
対象学生（クラス等） / Intended year (class)	水産学部1年生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	担当教員に確認すること		
担当教員研究室/Office	担当教員に確認すること		
担当教員TEL/Tel	担当教員に確認すること		
担当教員オフィスアワー/Office hours	講義後		
授業の概要及び位置づけ / Course overview	知的活動の動機付けを高め、科学的な思考方法と学習・実験のデザイン能力、レポートや口頭でのプレゼンテーション、ディスカッションを通じて適切な自己表現能力を育てる。 以上の授業概要及び位置づけに基づき、授業内容では以下を取り上げる。 自立的な学びの仕組み（アクティブラーニングとは何か、学修ポートフォリオの位置づけ、総合評価、各学部・コースのディプロマポリシーの周知、カリキュラムマップ・ツリーの説明） 文章の書き方（アカデミック・ライティング、クリティカル・ライティング） 文章の読み方（クリティカル・リーディング） 情報リテラシーとモラル（引用の仕方、不正行為（剽窃・盗用）、情報リテラシー、教員への質問の仕方（研究室の訪問の仕方、オフィスアワーとは何か、メールの書き方を含む）） 著作権 生成AIの概念と応用 社会におけるデータ・AI等の活用事例 図書館資料収集ガイダンス 課題発見、リサーチクエスト、問題関心（テーマ）の選択など プレゼンテーションの方法 ディスカッションの方法		
授業到達目標 / Course goals	高校までの教師主導型学習から、大学における自主的学習へのオリエンテーション機能を果たすこと、また、本学部での学習の入り口として、学生と教員及び学生相互のコミュニケーションづくりの効果も期待する。（目標A, F, G, I, J）		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力（1つ以上3つまで） / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ☐ 多様性の理解 / Understanding Diversity ■主体性 / Autonomy ☐ 協働性 / Cooperativeness ☐ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ☐ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	☐ A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ☒ B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ☐ C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ☐ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	授業開始時に詳細は説明するが、初年次セミナーに対する取り組み方やディスカッションへの積極的参加、プレゼンテーション、レポート等により評価する。		
各回の授業内容・授業方法（学習指導方法） / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		

事前、事後学修の内容/Preparation & Review	事前学習：課題学習のための調査や資料収集を行い、レポートの作成やプレゼンテーションの準備・練習を行うこと。(2h) 事後学習：授業時に配布された資料等を用いて復習を行い、情報リテラシーや情報セキュリティ、図書館資料収集方法についての理解を深め、主体的な学習のスキルを身に着けること。(2h)
キーワード/Keywords	プレゼンテーション、自己表現力、コミュニケーション、情報・資料収集
教科書・教材・参考書/Materials	授業の進行に合わせ、必要があればその都度指示する。
受講要件（履修条件）/Prerequisites	
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	
学生へのメッセージ/Message for students	「長大生のためのラーニングティップス」 https://www.innov.nagasaki-u.ac.jp/content-result/student/
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回（4月7日）	ガイダンス：モジュール科目による教養教育、アクティブラーニング、教員紹介（対面）
第2回（4月8日）	担当教員との懇談・方針説明・レポート作成の基礎、ポートフォリオの入力（対面）
第3回（4月14日）	レポート作成・提出（対面）
第4回（4月15日）	アクティブラーニングで学ぶコツ（教務委員長）（対面）
第5回（4月21日）	情報セキュリティ特別授業（対面）
第6回（4月22日）	クラス別課題学習（資料収集及び調査、中間発表、追加調査、調査を纏めるための検討、プレゼンテーションの方法についての検討、発表の準備）（対面）
第7回（4月28日）	情報リテラシー（著作権、（生成）AI等）（対面）
第8回（5月12日）	1～5班図書館資料収集ガイダンス（6～10班は第9回目に実施する）6～10班は各自課題を設定し、調べ及び発表準備（対面）
第9回（5月13日）	6～10班図書館資料収集ガイダンス（1～5班は第8回目に実施する）1～5班は各自課題を設定し、調べ及び発表準備（対面）
第10回（5月19日）	クラス別課題学習（資料収集及び調査、中間発表、追加調査、調査を纏めるための検討、プレゼンテーションの方法についての検討、発表の準備）（対面）
第11回（5月20日）	クラス別課題学習（資料収集及び調査、中間発表、追加調査、調査を纏めるための検討、プレゼンテーションの方法についての検討、発表の準備）（対面）
第12回（5月26日）	クラス別課題学習（資料収集及び調査、中間発表、追加調査、調査を纏めるための検討、プレゼンテーションの方法についての検討、発表の準備）（対面）
第13回（5月27日）	クラス別課題学習（資料収集及び調査、中間発表、追加調査、調査を纏めるための検討、プレゼンテーションの方法についての検討、発表の準備）（対面）
第14回（6月2日）	クラス別課題学習（資料収集及び調査、中間発表、追加調査、調査を纏めるための検討、プレゼンテーションの方法についての検討、発表の準備）（対面）
第15回（6月3日）	クラス別課題学習（最終発表会 反省と総括等を含む）（対面）